

第5章

まちづくりの地域別方針

5 まちづくりの地域別方針

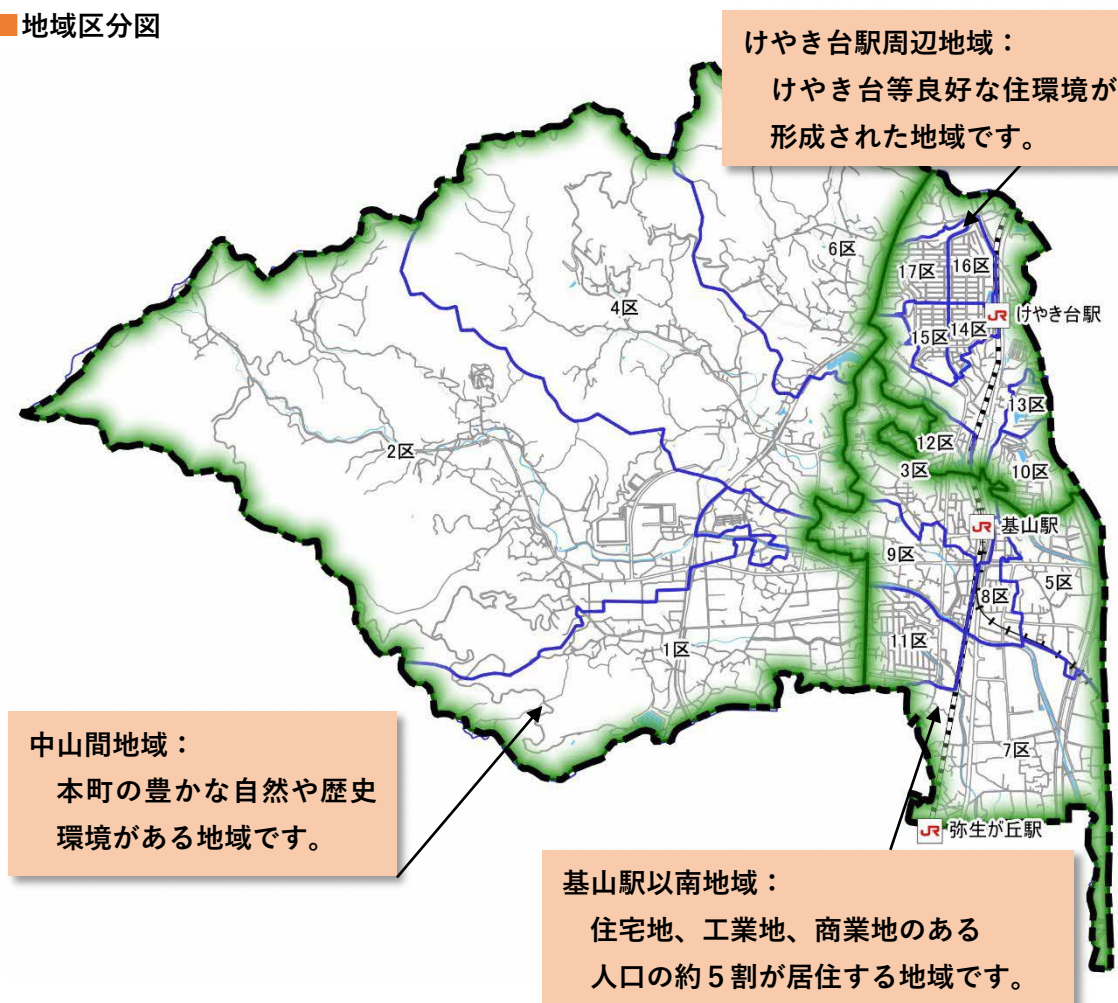
地域別方針は、将来のまちの姿やまちづくりの部門別方針を受けて、地域の位置付け等を踏まえて、「地域づくりの目標」、「整備方針」、「まちづくり方針図」によって地域づくりの方向性を示します。

なお「地域づくりの目標」については、町民アンケート及び地域別懇談会の結果を地域ごとに分析し、地域ごとの課題を整理した上で設定しております。

この方針は、地域住民が身近なまちづくりの目標を共通の認識を持って進めていくために活用します。

地域別方針の地域区分に当たっては、地形上のつながりや地域活動の一体性を考慮して「けやき台駅周辺地域」「基山駅以南地域」「中山間地域」の3つの地域に区分します。

■ 地域区分図



5-1. けやき台駅周辺地域における方針

5-1-1. けやき台駅周辺地域の特性

本地域は、けやき台等比較的新しく開発された団地を有しています。

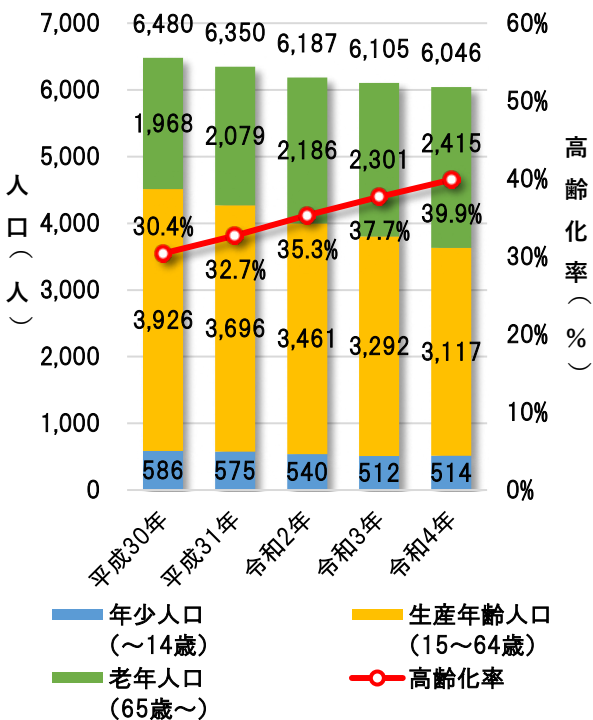
地区の北側に九州自動車道基山 PA があり、その中に九州最大級の高速バス停留所である高速基山停留所があります。

地区の中央を国道3号が通っており、沿道においては自動車の利便性に寄与する施設が立地しています。

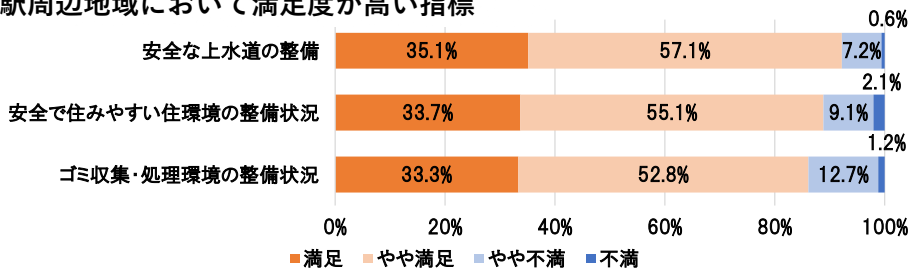
人口動向を見ると、人口そのものは減少している一方で老年人口や高齢化率は増加傾向にあります。将来的には他地区と比較して最も高齢化率が高い地区となる見込みです。

住民意向としては、上水道や住環境、ゴミ収集・処理環境については満足度が高い一方で、魅力ある中心市街地の形成や日用品の買い物の便利さ、利用しやすいコミュニティバスの整備状況については満足度が低くなっています。

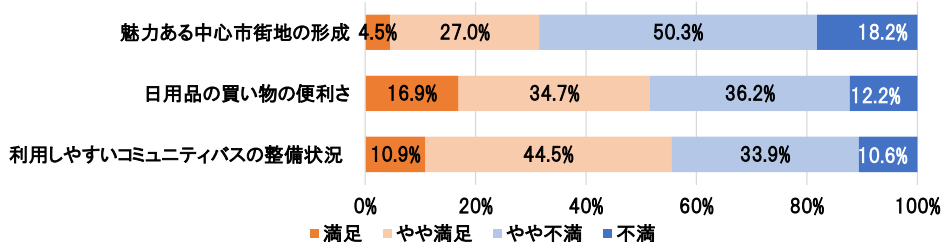
けやき台駅周辺地域における人口動向



けやき台駅周辺地域において満足度が高い指標



けやき台駅周辺地域において満足度が低い指標



5-1-2. 地域別懇談会の意見

令和4年1月に地域別懇談会を実施し、各地域の住民に基山町のまちづくりについて意見の聴取を行いました。本地域における主な意見は以下の通りです。

良いと思う点	●成熟した住環境で、コミュニティも良好 ●高台になっており、水害の心配もない ●緑と宅地のバランスが良い ●JRの駅があり、総じて交通の利便性が高い
悪いと思う点	●空き家の売り出しがされているが、築年数が経っており若い世代が買いたいとは思えない ●歳を取ったらプラスの出費が無くまちなかに移住できる生活環境があれば良い ●住宅を建てられる場所、用地が少ない ●買い物施設が無く不便 ●駅前に商業施設が無くなり、魅力がなくなっている

5-1-3. けやき台駅周辺地域の課題

【課題①】若者世代の移住定住の推進が必要

本地域は良好な住環境を形成している一方、老朽化した空き家が立地している箇所があります。

そのほか、宅地需要が高い一方で、その需要に十分に対応できる用地が無いことから、空き家の有効活用や老朽空き家の除却を推進するほか、必要に応じて住宅用地を確保しながら若者世代の移住定住を促進する必要があります。

【課題②】けやき台駅周辺の日常生活利便性の向上が必要

地域の拠点となるけやき台駅周辺においては、商業施設があまり立地していないため、日常生活に必要な機能の集積を図る必要があります。

【課題③】良好な住環境の維持が必要

生活道路の道路改良や、交通安全施設の整備、公共交通の充実などによって既に形成されている良好な住環境を維持する必要があります。



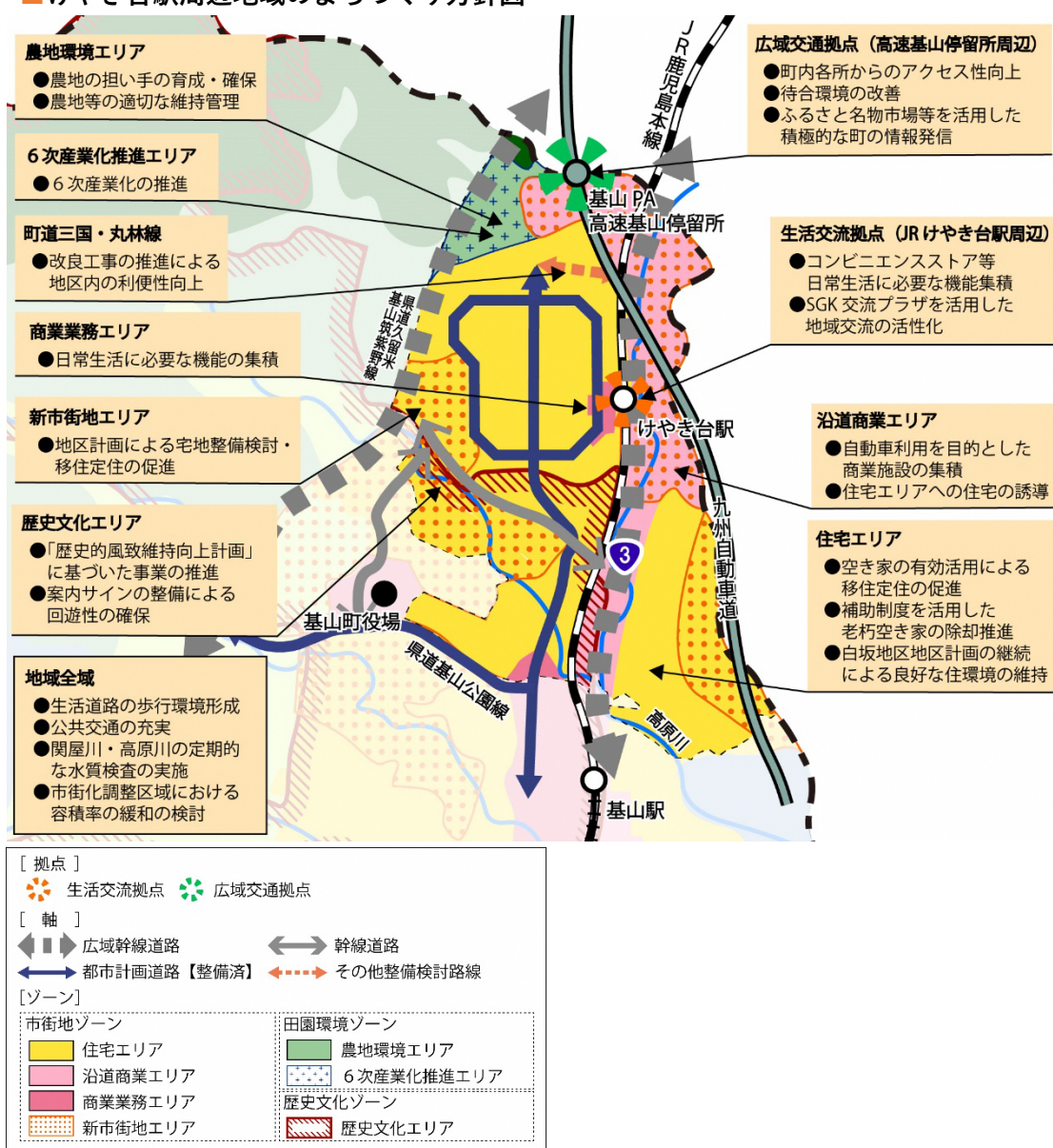
5-1-4、地域づくりの目標

課題をふまえ、本地域におけるまちづくりの方針を以下の通り設定します。

- (1) 若者世代の移住定住の促進
- (2) けやき台駅周辺の日常生活利便性の向上
- (3) 良好な住環境の維持

5-1-5、整備方針

■ けやき台駅周辺地域のまちづくり方針図



5-2. 基山駅以南地域における方針

5-2-1. 基山駅以南地域の特性

本地域は、中心生活拠点のほか、行政機能拠点、文化交流拠点の3拠点が近距離に立地しており、各拠点の回遊性を図る必要があります。

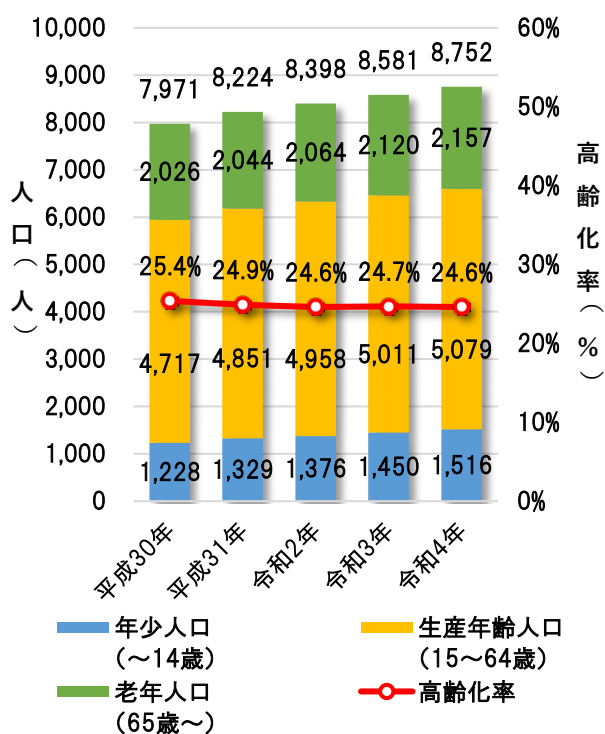
中心市街地である基山駅周辺においては、町民が日常的に利用できる施設の集積によって、さらなる魅力向上を目指す必要があります。

地区の南側は多くの工場が立地しており、今後も町の経済発展や雇用を維持・拡大していく必要があります。

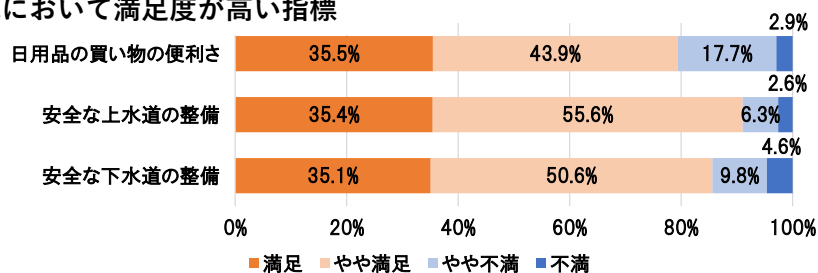
人口動向を見ると、全世代の人口が増加傾向にあり、移住定住施策によって多くの人が基山駅以南地域に移り住んでいることがわかります。

住民意向としては、日用品の買い物の便利さや上下水道の整備に関する満足度が高い一方で、魅力ある中心市街地の形成や利用しやすいコミュニティバスの整備状況、街路樹などの整備状況については満足度が低い結果となっています。

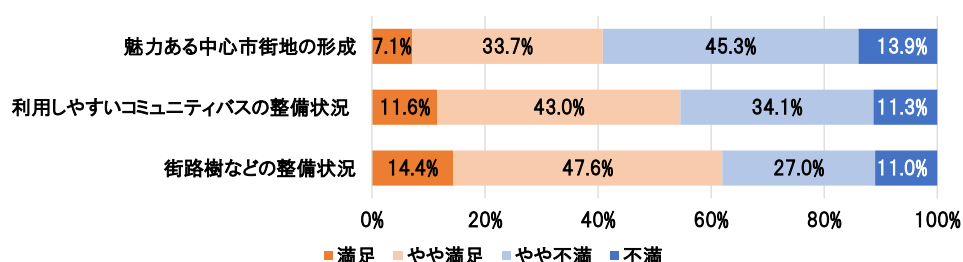
■ 基山駅以南地域における人口動向



■ 基山駅以南地域において満足度が高い指標



■ 基山駅以南地域において満足度が低い指標



5-2-2、地域別懇談会の意見

令和4年1月に地域別懇談会を実施し、各地域の住民に基山町のまちづくりについて意見の聴取を行いました。本地域における主な意見は以下の通りです。

良いと思う点	● 住環境がよく、適度な田舎感が良い ● 駅に近く、便利な環境 ● 耕作放棄地が少なく、稲作がされていた箇所も大豆畑に転用されている
悪いと思う点	● 東西幹線が朝夕渋滞する（国道3号への接続の改善） ● 地区によっては危ない道路が多い ● 農地の形状が悪く、後を継ぐ人がいない ● 高齢者はバス停留所までの距離があり大変 ● 地元で働けるよう、学生に就職先をあっせんしたり、雇用を増やしていく必要がある

5-2-3、基山駅以南地域の課題

【課題①】 基山駅周辺の求心力向上が必要

町の中心拠点である基山駅周辺に利便施設を維持・集積させるためには、空き店舗や低未利用地を活用しながら、周辺エリアの高度利用を推進させる必要があります。また、にぎわいを創出するイベント等を開催するなど魅力向上を図る必要があります。

【課題②】 3拠点の連携による回遊性向上・にぎわい創出が必要

本地域には基山駅周辺の「中心生活拠点」と基山町役場周辺の「行政機能拠点」、基山町立図書館・基山町多世代交流センター憩の家周辺の「文化交流拠点」の3つの拠点があり、徒歩や公共交通により拠点間の回遊性を向上することでにぎわいを創出する必要があります。

【課題③】 流通・工業用地の集積による経済発展・雇用創出が必要

本地域の東側は長野地区の工業団地をはじめ、町の経済を支える工業・流通機能が集積しており、これらの環境を維持・発展させる必要があります。



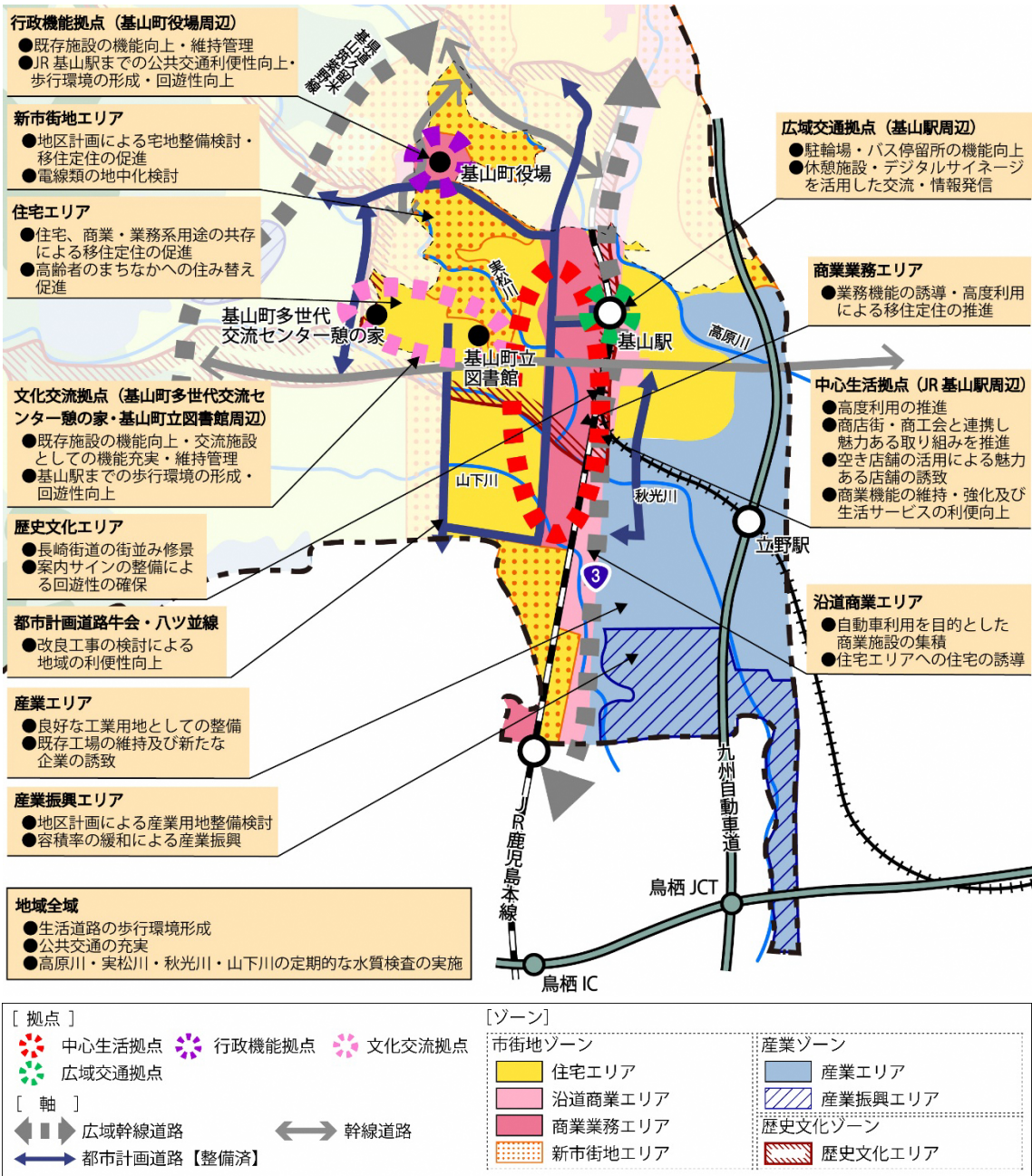
5-2-4、地域づくりの目標

課題をふまえ、本地域におけるまちづくりの方針を以下の通り設定します。

- (1) 基山駅周辺の求心力向上
- (2) 3 拠点の連携による回遊性向上・にぎわい創出
- (3) 流通・工業用地の集積による経済発展・雇用創出

5-2-5、整備方針

■ 基山駅以南地域のまちづくり方針図



5-3. 中山間地域における方針

5-3-1. 中山間地域の特徴

本地域は、地域の大半が山林となっています。

地域内には基肆城跡、大興善寺や荒穂神社などといった歴史的資源が多数あり、これらの歴史的資源を保全するための取組がされています。

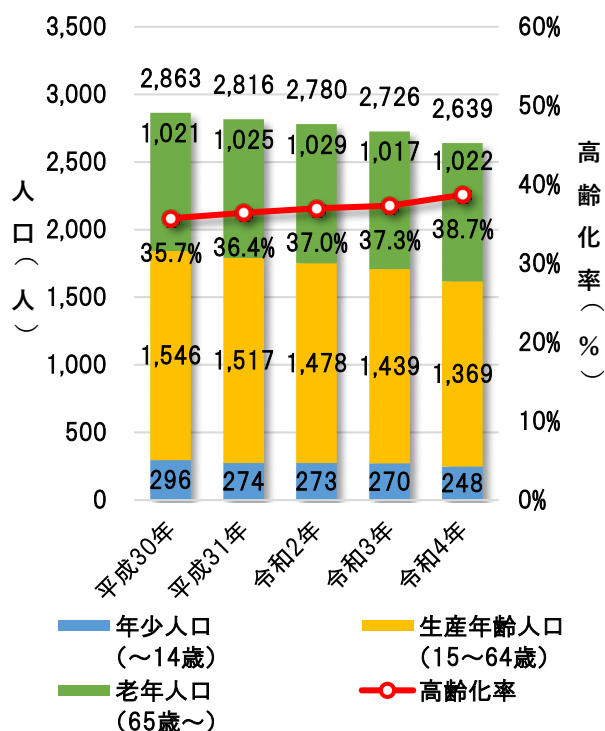
平野部においては農地が広がっており、後背の山林と併せて基山町の良好な自然環境を形成しているほか、近年では観光農園が立地しています。

また、工業団地である基山グリーンパークも立地しており、町としても企業の誘致を目指しています。

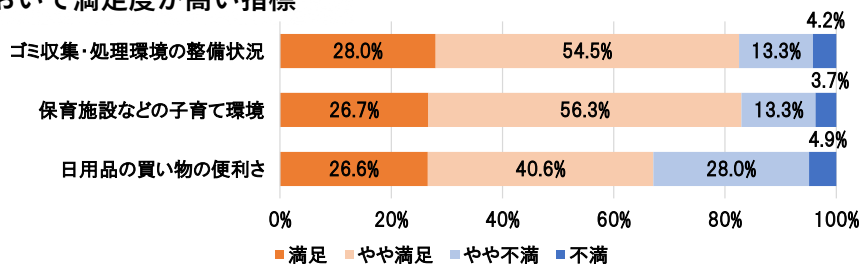
人口動向を見ると、全世代の人口が減少している一方で高齢化率は増加傾向にあります。

住民意向としては、ゴミ収集・処理環境の整備状況や保育施設などの子育て環境、日用品の買い物の便利さについて満足度が高い一方で、下水道の整備や魅力ある中心市街地の形成、上水道の整備について満足度が低い結果となっています。

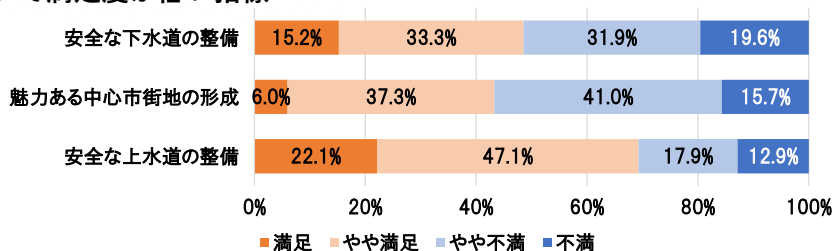
中山間地域における人口動向



中山間地域において満足度が高い指標



中山間地域において満足度が低い指標



5-3-2. 地域別懇談会の意見

令和4年1月に地域別懇談会を実施し、各地域の住民に基山町のまちづくりについて意見の聴取を行いました。本地域における主な意見は以下の通りです。

良いと思う点	●観光農園が立地したが、このような動きを進めると、地区の環境は更に良くなる ●基肄城跡や大興善寺などの地域内の歴史資源があるので、これらをより活用できれば良い
悪いと思う点	●集落に入る道が狭く、救急車が入ることができないところがある ●地域内は休耕田だらけ、他の作物をつくるための企業誘致をしてほしい ●農業従事者の高齢化が進んでいるが、農地へのアクセス性が悪く、ほかの人に田や畑を任せられない

5-3-3. 中山間地域の課題

【課題①】農地の保全や観光農園の誘致による農業の活性化が必要

遊休農地の活用、体験農園の整備を推進することで農地を保全し、農地を地域で管理できる組織をつくる必要があります。また、農業の活性化を進めていくためには、観光農園や大規模農業法人の誘致を推進していく必要があります。加えて、国の指定を受けた7地区の棚田等の保全を図るための周辺施設の整備を検討する必要

【課題②】歴史的資源の保全・活用による魅力形成が必要

地域内に点在する歴史的資源をより多くの人に発信するためには、歴史的資源の周辺エリアも含めて保全及び活用を図っていく必要があります。

【課題③】都市基盤の整備による集落環境の向上が必要

地域内に居住する人の利便性を確保するためには、50戸連たん制度を含めた施策の実施によって集落環境を維持するほか、必要に応じて道路や上下水道といった都市基盤の整備を進めていく必要があります。



5-3-4、地域づくりの目標

課題をふまえ、本地域におけるまちづくりの方針を以下の通り設定します。

- (1) 農地の保全や観光農園の誘致による農業の活性化
- (2) 歴史資源の保全・活用による魅力形成
- (3) 都市基盤の整備による集落環境の向上

5-3-5、整備方針

■中山間地域のまちづくり方針図

